

***Hirschmannia* sp の苗代期における寄生について**

守 田 美 典

(富山県射水病害虫防除所)

富山県においては1960年に *Hirschmannia* sp が水稲根に寄生しているのを確認し、更にその寄生が湿田、半湿田に多く、乾田に少ないことを知り、また水稲品種間での寄生差はあまり明らかでないことを知った。

1961年には水稲立毛期間中、2週間ごとに時期別寄生消長を調査してその実態を知った。要約すれば、稲の本田生育期間中に2つの密度増加のピークが見られ、その最初は7月中旬(7月17日の根10g当り39.8頭)に現われ、その後次第に増えて9月下旬(9月25日の根10g当り63.4頭)に最高となることが明らかとなった。

1962年には苗代期における前年の古株と苗について、寄生密度を調査した。すなわち、本田耕起時の5月18日前年の古株を採集し、25°Cで72時間加温してから48時間ベールマン遊出を行なった結果は第1表の如く、根量10g換算で最高347.1頭、最少40頭、平均104.3頭の寄生が確認された。

苗については保温折衷苗代の、27日、31日、41日苗を採集し、25°Cで48時間加温後に48時間及び18時間のベールマン遊出を行なつてその寄生密度を調査した。その結果は第2表の如く根量10g換算で27日苗に82.1頭、31日苗に58.8頭、41日苗に13.6頭の寄生を認めた。しかし、標本採集が同一圃場からできなかったことと、ベールマン遊出時間が41日苗についてのみ18時間であつたため、苗代日数と寄生密度の関係は明らかにすることができなかった。

第2表 苗代における寄生数

調査月日	苗代日数	25°C加温(h)	ベールマン遊出(h)	調査苗本数	根量(h)	遊出頭数	根量10g換算遊出頭数
V-19	27	48	48	25	2.8	23	82.1
"	31	"	"	21	1.7	10	58.8
V-26	41	"	18	30	7.9	11	13.9
"	"	"	"	30	9.8	9	9.2
"	"	"	"	30	7.0	8	11.4
"	"	"	"	30	8.0	16	20.0

標本採集地 射水郡小杉町下条、大門町

第1表 前年の古株における寄生数

調査月日	株No	25°C加温(h)	ベールマン遊出(h)	根量(g)	遊出頭数	根量10g換算遊出頭数
V-18	1	72	48	3.1	12	38.5
"	2	"	"	1.7	59	347.1
"	3	"	"	3.4	19	55.9
"	4	"	"	2.3	1	4.0
"	5	"	"	5.0	38	76.0
平均						104.3

標本採集地 射水郡小杉町下条(半湿田)  
同 月日 5月18日

以上を要約すると、*Hirschmannia* sp の水稲への寄生は苗代播種後27日以前の早い時期に行なわれるものようで、地温との関係から苗代様式による寄生時期のずれが考えられるので今後苗代様式と地温との関係から寄生時期の調査を実施したい。